

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公表番号】特表 2001-501959(P2001-501959A)

【公表日】平成 13 年 2 月 13 日 (2001.2.13)

【出願番号】特願 平 10-517988

【国際特許分類第 7 版】

A 0 1 N 25/26

A 0 1 N 25/14

【F I】

A 0 1 N 25/26

A 0 1 N 25/14

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 4 日 (2004.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年10月4日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示

特願平10-517988号

2. 補正をする者

名称 ビーエーエスエフ アクチェンゲゼルシャフト

3. 代理人

住 所 東京都中央区京橋2丁目8番18号

昭和ビル (電話 3538-7746 代表)

氏 名 ^{A035}
(10035) 弁理士 江 藤 聡 明

4. 補正により増加する請求項の数 0

5. 補正対象書類名

特許請求の範囲

6. 補正対象項目名

特許請求の範囲



7. 補正の内容

別紙の通り

請求の範囲

1. 実質的に、
 - (a) 25℃での水への溶解度が500mg/L未満である、アモルファス状態が支配的なナノ微粒子状の作物保護活性成分1種以上、及び
 - (b) 成分(a)を包含する被膜から構成され、再分散後におけるナノ微粒子の作物保護活性成分の平均粒径が、0.05～0.8μmであることを特徴とする固体作物保護組成物。
2. 作物保護活性成分の水への溶解度が25℃にて100mg/L未満である請求項1に記載の組成物。
3. 成分(b)が実質的にゼラチンから構成されている請求項1又は2に記載の組成物。
4. 成分(b)が実質的に、フェノールスルホン酸／尿素／ホルムアルデヒド縮合物の塩から構成されている請求項1～3のいずれかに記載の組成物。
5. さらに安定剤を含む請求項1～4のいずれかに記載の組成物。
6. 作物保護活性成分として除草性作物保護活性成分を含む請求項1～4のいずれかに記載の組成物を、栽培植物、その環境及び／又はその種子に作用させることを特徴とする望ましくない植生を制御する方法。
7. 有害菌類、もしくは害虫、その環境、又はこれらから保護されるべき植物、領域、資材又は空間に、作物保護活性成分として有害菌類に対して作用する作物保護活性成分又は害虫に対して作用する作物保護活性成分を含む請求項1～4のいずれかに記載の組成物で処理することを特徴とする有害菌類及び害虫を防除する方法。

8. 植物、その環境及び／又はその種子を、作物保護活性成分として生長抑制作物保護活性成分を含む請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の組成物により、その調整量で処理することを特徴とする植物の生長を抑制する方法。

9. 作物保護活性成分の液体製剤を被覆材料の液体製剤と混合し、そして得られた作物保護活性成分の被覆物をそれ自体公知の方法で実質的に乾燥することを特徴とする請求項 1 に記載の組成物を製造する方法。

10. 作物保護活性成分をその塩から遊離させた直後に混合する請求項 7 に記載の方法。